

第1回 北海道生産性本部基本調査 結果集計表

調査対象: 労使学の運営幹部(本部副会長以下本部役員、支部長以下支部役員、当本部に係る学識者)・・・ 114名

調査方法: 上記対象者宛調査票郵送

調査時期: 2008年1月上旬～2月中旬

回 答: 82名(内訳: 経営幹部46名、労組幹部20名、学識者16名)、回答率 72%

1. 景気・経済

Q1. 北海道の景気の現状について、どのように実感していますか。次の中から該当するもの1つに○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 上昇している	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
2. やや上昇している	2.2	5.0	25.0	7.3	1	1	4	6
3. 上昇も下降もしていない	21.7	45.0	6.3	24.4	10	9	1	20
4. やや下降している	45.7	30.0	50.0	42.7	21	6	8	35
5. 下降している	30.4	15.0	18.8	24.4	14	3	3	20
6. その他()	0.0	5.0	0.0	1.2	0	1	0	1

その他

◎企業規模により差が拡大している

Q2. 来年度、北海道の景気はどのように推移していくとお考えですか。次の中から該当するもの1つに○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 上昇する	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
2. やや上昇する	2.2	15.0	31.3	11.0	1	3	5	9
3. 現在と同水準のまま	32.6	55.0	12.5	34.1	15	11	2	28
4. やや下降する	45.7	20.0	43.8	39.0	21	4	7	32
5. 下降する	19.6	5.0	12.5	14.6	9	1	2	12
6. その他()	0.0	5.0	0.0	1.2	0	1	0	1

その他

◎サミット効果がどこまで望めるのか、わからない

企業経営

Q3. 現在の企業における重点課題は何とお考えですか。次の中から該当するものに5つまで○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. M&A、合併、戦略的提携の推進	6.5	5.0	12.5	7.3	3	1	2	6
2. 売り上げの維持・拡大方策	39.1	20.0	6.3	28.0	18	4	1	23
3. 利益の維持・拡大方策	76.1	50.0	12.5	57.3	35	10	2	47
4. 連結対象子会社の強化	4.3	10.0	0.0	4.9	2	2	0	4
5. 生産体制の見直し	4.3	10.0	18.8	8.5	2	2	3	7
6. 新規事業の推進・強化	26.1	15.0	43.8	26.8	12	3	7	22
7. 内部統制の整備・構築	43.5	25.0	18.8	34.1	20	5	3	28
8. 人件費削減	6.5	0.0	0.0	3.7	3	0	0	3
9. 環境問題への積極的取り組み	39.1	85.0	31.3	48.8	18	17	5	40
10. 新会計基準への対応	2.2	5.0	0.0	2.4	1	1	0	2
11. 組織のフラット化、スリム化	6.5	0.0	31.3	9.8	3	0	5	8
12. 海外への事業展開	4.3	0.0	18.8	6.1	2	0	3	5
13. 人材の育成	80.4	85.0	100.0	85.4	37	17	16	70
14. ITの活用方策	0.0	5.0	12.5	3.7	0	1	2	3
15. 流通・物流経路の再編	2.2	5.0	18.8	6.1	1	1	3	5
16. 資金運用の効率化	10.9	5.0	0.0	7.3	5	1	0	6

17. ホワイトカラーの生産性向上	8.7	5.0	25.0	11.0	4	1	4	9
18. 危機管理体制の構築	19.6	20.0	18.8	19.5	9	4	3	16
19. CSR・コンプライアンス経営	50.0	60.0	43.8	51.2	23	12	7	42
20. 技能の継承	34.8	50.0	18.8	35.4	16	10	3	29
21. 女性・高齢者・外国人の積極雇用	0.0	10.0	0.0	2.4	0	2	0	2
22. ワーク・ライフ・バランスの推進	4.3	50.0	18.8	18.3	2	10	3	15
23. その他()	0.0	0.0	6.3	1.2	0	0	1	1

その他

◎道内企業連携

Q4. 企業経営上、最も重要視すべきステークホルダー（利害関係者）は何ですか。次の中で重要度が高いもの2つまで○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 株主・投資家	23.9	20.0	18.8	22.0	11	4	3	18
2. 従業員	37.0	80.0	56.3	51.2	17	16	9	42
3. 顧客	73.9	60.0	75.0	70.7	34	12	12	58
4. 取引先	15.2	0.0	18.8	12.2	7	0	3	10
5. 債権者	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
6. 取引銀行	6.5	0.0	0.0	3.7	3	0	0	3
7. 規制当局	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
8. マスコミ	0.0	5.0	0.0	1.2	0	1	0	1
9. 社会全般	6.5	10.0	6.3	7.3	3	2	1	6
10. 同業他社	8.7	0.0	0.0	4.9	4	0	0	4
11. 業界団体	0.0	5.0	0.0	1.2	0	1	0	1
12. 地域社会	23.9	15.0	18.8	20.7	11	3	3	17
13. 住民	2.2	5.0	0.0	2.4	1	1	0	2
14. その他()	2.2	0.0	0.0	1.2	1	0	0	1

Q5. 次代を担う人材に特に必要な能力は何とお考えですか。次の中から該当するものに3つまで○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 経営戦略・マーケティング、財務、組織などマネジメントに関する知識	39.1	45.0	25.0	37.8	18	9	4	31
2. 企業倫理、リスクマネジメント、ガバナンスなどに関する知識	21.7	30.0	25.0	24.4	10	6	4	20
3. 歴史、宗教、哲学など判断の基軸をつくるための知識	2.2	0.0	6.3	2.4	1	0	1	2
4. 組織を牽引するためのリーダーシップ	45.7	35.0	6.3	35.4	21	7	1	29
5. 多様な切り口から物事を見ることができる視点、発想力	45.7	40.0	62.5	47.6	21	8	10	39
6. 組織の進む方向やビジョンを描く構想力	28.3	45.0	25.0	31.7	13	9	4	26
7. 内外の環境を正しく認識して意思決定する判断力	47.8	50.0	37.5	46.3	22	10	6	38
8. 論理的に物事を考える力、企画力、説明力	10.9	5.0	62.5	19.5	5	1	10	16
9. 率先して問題解決ができる実践力、課題解決力	43.5	45.0	37.5	42.7	20	9	6	35
10. 社外のネットワーク構築、他流試合、相互研鑽	4.3	0.0	6.3	3.7	2	0	1	3
11. その他()	2.2	0.0	0.0	1.2	1	0	0	1

その他

◎読み、書き、ソロバン（計算能力）などの基礎的能力

雇用

(Q6およびQ7については、「経営」および「労組」の立場におられる方のみご回答下さい。)

Q6. 貴組織では、過去1年間で正規社員・非正規社員の数に増減がありましたか。次の中から該当するもの1つに○をつけて下さい。

なお「労組」の立場の方は、所属する会社を対象にご回答下さい。

	%			名		
	経営	労組	全体	経営	労組	全体
1. 正規社員数・非正規社員数ともに増加	19.4	25.0	21.4	7	5	12
2. 正規社員数増加・非正規社員数減少	5.6	0.0	3.6	2	0	2
3. 正規社員数・非正規社員数ともに増減なし	38.9	5.0	26.8	14	1	15
4. 正規社員数減少・非正規社員数増加	16.7	60.0	32.1	6	12	18
5. 正規社員数・非正規社員数ともに減少	19.4	10.0	16.1	7	2	9

Q7. 貴組織では、2008年度の正規社員・非正規社員の増減の見通しをどのように予測されますか。次の中から該当するもの1つに ○をつけて下さい。

なお前記社員には団体の職員を含み、また「労組」の立場の方は、所属する会社・団体を対象にご回答下さい。

	%			名		
	経営	労組	全体	経営	労組	全体
1. 正規社員数・非正規社員数ともに増加の見通し	13.9	40.0	23.2	5	8	13
2. 正規社員数増加・非正規社員数減少の見通し	16.7	10.0	14.3	6	2	8
3. 正規社員数・非正規社員数ともに増減なし	30.6	10.0	23.2	11	2	13
4. 正規社員数減少・非正規社員数増加の見通し	19.4	35.0	25.0	7	7	14
5. 正規社員数・非正規社員数ともに減少の見通し	19.4	5.0	14.3	7	1	8

労働組合

Q8. 今後の労働組合の活性化のために特に重要な項目は何とお考えですか。次の中から該当するもの3つまで○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 組合員の能力・キャリア形成への支援	10.9	15.0	31.3	15.9	5	3	5	13
2. 組合員への生活設計への支援	2.2	15.0	6.3	6.1	1	3	1	5
3. 組合員との対話・相談活動	19.6	60.0	0.0	25.6	9	12	0	21
4. 組合員のメンタルヘルス支援	8.7	20.0	6.3	11.0	4	4	1	9
5. パート・アルバイトも含めた組合組織率の向上	2.2	15.0	37.5	12.2	1	3	6	10
6. 経営チェック機能の向上	4.3	35.0	31.3	17.1	2	7	5	14
7. 経営情報の伝達	13.0	10.0	12.5	12.2	6	2	2	10
8. 経営に関する現状分析・課題解決の提案	10.9	5.0	37.5	14.6	5	1	6	12
9. ボランティア等の参加を通じた地域貢献	4.3	20.0	0.0	7.3	2	4	0	6
10. 組合リーダーの能力向上	10.9	25.0	12.5	14.6	5	5	2	12
11. 組織運営の効率化・簡素化	8.7	5.0	12.5	8.5	4	1	2	7
12. 組織運営の情報開示による透明度向上	4.3	0.0	12.5	4.9	2	0	2	4
13. 生涯人生の支援	0.0	10.0	12.5	4.9	0	2	2	4
14. 労使協議制の充実	10.9	15.0	6.3	11.0	5	3	1	9
15. 組合員の意見集約・組織統制力	17.4	30.0	0.0	17.1	8	6	0	14
16. 労働に対する意識高揚	2.2	10.0	6.3	4.9	1	2	1	4
17. 女性リーダーの育成・登用	2.2	10.0	6.3	4.9	1	2	1	4
18. その他()	2.2	0.0	6.3	2.4	1	0	1	2

その他:

◎管理職層へのサポート。組合のない会社の従業員へのサポート

ワーク・ライフ・バランス

Q9. 厚生労働省による「平成19年版労働経済白書」には、人口減少時代において生産性を向上させ就業機会を増やすためには、仕事と生活を調和させるワーク・ライフ・バランスが重要であると提言しています。このワーク・ライフ・バランスの推進について、どのように考えておられるのか、次の中からお考えに一番近いもの1つに○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 企業にとってメリットがある	39.1	50.0	68.8	47.6	18	10	11	39
2. 企業にとってメリットがあるとは思えない	6.5	10.0	0.0	6.1	3	2	0	5
3. どちらともいえない	47.8	40.0	18.8	40.2	22	8	3	33
4. その他()	6.5	0.0	12.5	6.1	3	0	2	5

その他

- ◎望ましいことだが、企業にとって直ちにメリットが出るわけではない ◎どちらにもメリット
 ◎長いスパンで見ると企業にメリットは生じるはずだが、実感できるか否かは現段階では疑問
 ◎まだ具体的に判断できる状況にない。 ◎地域社会として必要。

(Q9で1に○をつけられた方のみお答え下さい。)

Q10.「ワーク・ライフ・バランス」を推進するメリットをどのようにお考えですか。次の中から該当するもの2つまで○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 従業員の就業意欲が向上する	28.3	35.0	43.8	32.9	13	7	7	27
2. 従業員の生産性が高まる	15.2	20.0	18.8	17.1	7	4	3	14
3. 有能な人材が確保できる	8.7	15.0	25.0	13.4	4	3	4	11
4. 企業の社会的評判が高まる	2.2	0.0	0.0	1.2	1	0	0	1
5. 企業の社会的責任を果たせる	8.7	5.0	25.0	11.0	4	1	4	9
6. 心の病の防止につながる	4.3	10.0	12.5	7.3	2	2	2	6
7. 女性の就業率を高めることができる	2.2	5.0	12.5	4.9	1	1	2	4
8. その他()	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0

(Q9で2に○をつけられた方のみお答え下さい。)

Q11.「ワーク・ライフ・バランス」を推進するデメリットをどのようにお考えでしょうか。次の中から該当するもの1つに○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. チームワークが悪化する	33.3	0.0	0.0	20.0	1	0	0	1
2. 生産性が低下する	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
3. コストが増える	66.7	100.0	0.0	80.0	2	2	0	4
4. その他()	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0

生産性運動

Q12.生産性運動の三原則(①雇用の維持・拡大、②労使の協力・協議、③成果の公正配分)についてご存知ですか。

次の中から該当するもの1つに○をつけて下さい。

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 労使間の大切な原則として認識している	34.8	75.0	62.5	50.0	16	15	10	41
2. 知っている	47.8	20.0	37.5	39.0	22	4	6	32
3. 知らない	17.4	5.0	0.0	11.0	8	1	0	9
4. その他()	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0

(Q13については、Q12で1または2に○をつけられた方のみお答え下さい。)

Q13.生産性運動の三原則は、有効に機能していると思いますか。それぞれについて次の中からお考えに一番近いもの1つに○をつけて下さい。

a.雇用の維持・拡大

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 機能している	63.2	57.9	12.5	50.7	24	11	2	37
2. 機能していない	10.5	5.3	31.3	13.7	4	1	5	10
3. どちらとも言えない	26.3	36.8	56.3	35.6	10	7	9	26

b.労使の協力・協議

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 機能している	71.1	89.5	50.0	71.2	27	17	8	52
2. 機能していない	7.9	0.0	6.3	5.5	3	0	1	4
3. どちらとも言えない	21.1	10.5	43.8	23.3	8	2	7	17

c.成果の公正配分

	%				名			
	経営	労組	学識	全体	経営	労組	学識	全体
1. 機能している	73.0	21.1	18.8	47.2	27	4	3	34
2. 機能していない	5.4	26.3	18.8	13.9	2	5	3	10
3. どちらとも言えない	21.6	52.6	62.5	38.9	8	10	10	28